

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
麻生情報ビジネス 専門学校北九州校		平成8年3月4日		富田 博之		〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野 2丁目11番33号 (電話) 093-533-1133																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999																			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																		
文化・教養	文化教養専門課程	CGクリエイター科				平成28年文部科学省 告示第18号	-																		
学科の目的	デッサン、色彩などの演習を通してデザインの基礎を学ぶ。また、グラフィックデザイン、Webデザイン、CG・映像、イラストレーションなどの各専門領域の理論と演習を通して、デザイン制作の実践力を身に付ける。加えて、コンテストへの参加、進級・卒業制作を通してデザインセンスを磨き、3年間のカリキュラムでより高度なデザイン制作を目標とし、より高いレベルでクリエイティブ業界の人材育成を目指す。																								
認定年月日	平成29年2月28日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
3年	昼間	2666時間	368時間	2298時間	0時間	0時間	0時間																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
60人		23人	0人	3人	10人	13人																			
学期制度	■前期:4月1日から8月31日まで ■後期:9月1日から3月31日まで			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 「教育目標」に準じた総合評価を行う。評価はS・A・B・C・Dの5ランクとする。																				
長期休み	■夏季: 8月1日~8月31日 ■冬季: 12月23日~1月8日 ■春季: 3月1日~3月31日			卒業・進級条件	ア. 指定科目すべての履修・修得 イ. 卒業基準検定の取得 ウ. 出席率が90%以上 エ. 学生としてふさわしい生活態度																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任、授業担当教員により、放課後等に、質問対応、個別やグループ単位での指導、個別相談を行なっている。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア等 ■サークル活動: 有																				
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成29年度卒業生) デザイン業界、クリエイティブ業界 ■就職指導内容 担任、就職担当職員により、キャリアデザイン、履歴書の作成、面接試験等についての指導、相談を行っている。 ■卒業生数 5 人 ■就職希望者数 5 人 ■就職者数 5 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩検定 3級</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>Photoshop 検定 STD</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>Illustrator 検定 STD</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 JAGDA 学生グランプリ2017入選(1点) わっしょい百万夏祭りポスターデザイン公募採用(1点) 福岡県美術展覧会デザイン部門入選(9点)					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	色彩検定 3級	③	9人	8人	Photoshop 検定 STD	③	9人	9人	Illustrator 検定 STD	③	9人	8人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																						
色彩検定 3級	③	9人	8人																						
Photoshop 検定 STD	③	9人	9人																						
Illustrator 検定 STD	③	9人	8人																						
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成29年4月1日時点において、在学者22名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者22名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 退学者なし ■中退防止・中退者支援のための取組 担任、学校カウンセラーによるガイダンス、家庭への電話連絡や三者面談の実施。			■中退率 0.0%																					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																								
当該学科のホームページURL	http://www.asoju.ac.jp/abkc/subject/cgc/																								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

学生の主な就職先であるクリエイティブ業界、デザイン業界においては、顧客が求めるデザインが出来る人材、企画、提案も含めた総合力を持った人材が求められている。そのような人材を育てる教育課程を編成するには、企業等との連携が不可欠である。そのため、本校では、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。

また、業界で仕事をされている兼任教員や、学生の就職先企業の方との意見交換を随時行う。さらに、インターンシップ先に評価表を書いていただいたり、就職先企業に対しお客様アンケートを実施したりすることにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことにより得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置く。委員会では、以下に示す事項を審議する。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

教育課程編成委員会の意見は、主任等が主宰する各学科または各系のカリキュラム会議において検討し、カリキュラムの改善(授業科目の新設・改編や、授業方法の改善・工夫)などに行ける限り反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
岡村 宏幸	産業経済局 企業支援・産学連携部 企業立地支援課 情報・通信産業担当課長	H30/4/1～ H31/3/31 (任期1年)	①
宮原 寿光	(株)RAID 代表取締役社長	H29/10/1～H30/9/30 (任期1年)	③
上田 浩二	ガレージインク 代表	H29/10/1～H30/9/30 (任期1年)	③
白石 和行	麻生情報ビジネス専門学校北九州校 教務部リーダー	H30/4/1～ H31/3/31 (任期1年)	
堀切 多恵	麻生情報ビジネス専門学校北九州校 教員	H30/4/1～ H31/3/31 (任期1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 6月・11月

(開催日時)

平成29年度第1回 平成29年 6月 23日 18:00～18:30 全体会 17:00～17:30 分科会
 平成29年度第2回 平成29年11月10日 17:00～17:45 全体会 16:30～17:00 分科会
 平成30年度第1回 平成30年 6月22日 16:00～17:25 全体会 15:30～16:00 分科会

(開催日時 予定)

平成30年度第2回 平成30年11月9日 16:00～17:30 全体会 15:30～16:00 分科会

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

Web関連業界では、福岡に大手の会社が進出してきていることもあり人手不足の状況である。学校でも、Web業界への意欲を高める取組を行っていただきたいとの意見があった。この意見を受けて、Web業界での就職を見据えたカリキュラムを更に検討していくこととした。また、Web業界の現状を伝える機会を設け、学生の動機付けを行うこととした。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等からのヒアリング及び卒業生を採用していただいている企業に対して実施している「お客様アンケート」の情報に基づき、現在デザイン業界で求められている人材像、技術を修得することが出来る授業を、企業との連携により実現する。

また、企業の方から直接指導していただくことにより、企業が求めるレベルを知ることが出来、そのレベルと現在の実力とのギャップから、今後各自が努力すべき方向性と量を認識させる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

デザイン業界で求められている人材像、技術を知ることと目的とした科目となるよう、企業から派遣される講師と本校教員とが授業開始前に、授業内容や授業方法、評価方法などについて打ち合わせを実施し決定する。また、評価基準についても学生が現在の自己のレベルを把握できる内容となるよう企業講師と協議して設定する。

企業講師には、実際の授業にも適宜入っていただき、学生に業界の求めるレベルを認識させるためにアドバイスを行っていただく。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
進級制作Ⅰ	1年次に習得したデザイン制作の基礎技術を活かし、一つのまとまった制作物として形にして完成させる。企業の方から個々にアドバイスをいただき、実践的かつ専門的な能力を身に付けるための端緒を理解させる。	ナカムラタツヤデザインルーム
進級制作Ⅱ	2年次に習得したデザイン制作の応用技術を活かし、主に企画力に重点を置いて制作物を完成させる。企業の方から個々にアドバイスをいただき、より実践的で専門的に完成度の高い作品を制作する。	ナカムラタツヤデザインルーム
卒業制作 A	3年までに学んだことの集大成とした作品制作を行う。2年次同様、企画の内容に重点を置くが、企業の方からアドバイスをいただき、より社会的なテーマや問題を取り上げ制作する。卒業制作Aでは企画書完成・制作までを行う。	ナカムラタツヤデザインルーム
卒業制作 B	3年までに学んだことの集大成とした作品制作を行う。2年次同様、企画の内容に重点を置くが、企業の方からアドバイスをいただき、より社会的なテーマや問題を取り上げ制作する。卒業制作Bでは制作からプレゼンまでを行う。	ナカムラタツヤデザインルーム

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「学校法人麻生塾 教職員研修規程」に基づき、計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。CGクリエイター科においては、クリエイティブ業界、デザイン業界において必要とされる、実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて実施される、職能団体や企業が実施する研修やセミナー等に、積極的に教員を参加させる。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 松尾茂起氏のSEOライティングセミナー

『ファンを増やし、検索エンジンで上位表示されるSEOライティングの極意』

連携企業等: 北九州ECラボ

日程: 平成29年7月21日

内容: Web集客のコンサルティングやコンテンツ制作のためのセミナー。Web業界の最新技術動向や業界動向を習得

対象: 教員1名

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: ユースアドバイザー養成講習会

連携企業等: 北九州市子ども家庭局

日程: 平成29年8月18日

内容: 若者サポートのための効果的な面接方法の実習

対象: 教員2名

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: シーグラフアジア2018東京

連携企業等: ACM(米国計算機学会)

日程: 平成30年12月5日～7日

内容: 世界的なCGIに関する最新の動向を実体験として知り、今後の学生指導や、学科の方向性策定に役立てる。

対象: 教員1名

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: コーチング実践

連携企業等: 組織デザイン・ラボ(講師: 原口祐佳氏(組織デザイン・ラボ代表))

日程: 平成30年8月30日

内容: 学校における学生・保護者との対応事例を使い、コーチング手法を学ぶ。

対象: 教員1名

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5)学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10)社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11)国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

企業等委員より、クリエイティブな仕事が多いと思いついて入社してくるが、実際は作業的なものも多く、ギャップを感じて退職してしまう社員もいる。その他の退職者については、原因が分からないままとなるケースもある。卒業生が退職した場合には、学校からも原因のヒアリング等を行っていただきたいとの意見があった。

学校としても、就職後のフォローは重要だと考えているため、退職に至る前に相談を受けることができる体制を整え、離職防止に努めていくこととした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
瀧口 博俊	福岡県立小倉商業高等学校 校長	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	高等学校関係者
小野 千恵	ゲームクリエイター科2年生の保護者	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	保護者
西村 祥子	システムエンジニア科平成21年度卒業生	H29/10/1～H31/9/30(任期2年)	卒業生
安部 久美子	地域住民代表	H29/4/1～H31/3/31(任期2年)	地域住民
池田 隼人	㈱メンバーズ ラーニングプラットフォーム室組織開発グループ グループ長/マネージャー	H30/4/1～H32/3/31(任期2年)	企業関係者
森田 良一	バリエントソフト(株) 代表取締役	H29/10/1～H31/9/30(任期2年)	企業関係者
河上 和弘	㈱ジーン 第一開発事業部 事業部長	H29/10/1～H31/9/30(任期2年)	企業関係者
宮原 寿光	㈱RAID 代表取締役社長	H29/10/1～H31/9/30(任期2年)	企業関係者
上田 浩二	ガレージインク 代表	H28/10/1～H30/9/30(任期2年)	企業関係者
伊藤 洋平	㈱安川ビジネススタッフ 営業企画本部 営業企画課長	H28/10/1～H30/9/30(任期2年)	企業関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/>

公表時期:平成29年9月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、ASOの考え方、5つの特徴
(2)各学科等の教育	学科コース一覧、国家資格・検定、就職情報、入学案内
(3)教職員	教員一覧
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援、各種支援制度
(8)学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育、海外での大学教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(学生便覧))

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/abkc/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程CGクリエイター科) 平成30年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			CG概論Ⅰ	CGデザイン制作のための基本的な知識の習得 CGクリエイター検定の受験対策	1後	48	○			○		○		
○			色彩演習Ⅰ-A/B	色彩についての基礎知識を演習を通じて学習する。 色彩検定2級の受験対策。	1前後	72		○		○		○		
○			色彩演習Ⅱ	色彩についての基礎知識を演習を通じて学習する。 色彩検定2級の受験対策。	2前	48		○		○		○		
○			デザイン概論Ⅰ	デザインについての基本知識について学習する。	1前	48	○			○		○		
○			デザイン概論Ⅱ	デザイン概論Ⅰを基本とし、デザインについての知識、歴史などについて学習する。	2後	24	○			○		○		
○			デッサン	石膏像、静物などを鉛筆デッサンし、正確な描写力と観察力を養う。	1前後	96		○		○			○	
○			POP演習Ⅰ	レタリングを通じたタイポグラフィからPOP広告の知識と技術の基礎を習得する。	1後	24		○		○			○	
○			POP演習Ⅱ	1年次に習得した知識と技術を応用し、より実践的な課題制作を行う。	2前	24		○		○			○	
○			表現技法Ⅰ	主としてアナログ的な表現手法を通じ、課題制作を行う。	1後	24		○		○			○	
○			表現技法Ⅱ-A/B	表現技法Ⅰを基本としクリエイティブな表現力を養うための課題制作を行う。	2前後	72		○		○			○	
○			表現技法Ⅲ-A/B	2年間で培ったクリエイティブな表現力を用いた課題制作を行う。	3前後	96		○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			CG演習Ⅰ-A/B	デザイン制作に不可欠なグラフィック用アプリケーションの知識と技術の基本を学習する。	1 前後	96		○		○		○		
○			CG演習Ⅱ-A/B	グラフィック用アプリケーションの基礎技術を応用し、課題制作を通じて実践していく。	2 前後	96		○		○		○		
○			CG演習Ⅲ-A/B	グラフィック用アプリケーションの基礎技術を応用し、課題制作を通じて実践していく。	3 前後	96		○		○		○		
○			CG応用演習 (映像表現) Ⅰ	映像表現に必要な基本技術の習得と課題制作、コンテスト出品など。	1 後	24		○		○			○	
○			CG応用演習 (映像表現) Ⅱ-A/B	基本技術を応用しより完成度の高い作品制作を目指す。課題制作、コンテスト出品など。	2 前後	48		○		○			○	
○			CG応用演習 Ⅲ (映像表現)	基本技術を応用しより完成度の高い作品制作を目指す。課題制作、コンテスト出品など。	3 前後	48		○		○			○	
○			CG応用演習 (デジタル描画) Ⅰ-A/B	フォトショップなどグラフィックソフト、ペンタブレットなどのデジタル機材を使つての描画技法基本テクニック習得。	2 前後	48		○		○			○	
○			CG応用演習 (デジタル描画) Ⅱ-A/B	フォトショップなどグラフィックソフト、ペンタブレットなどのデジタル機材を使つての描画技法基本テクニック習得。	3 前後	96		○		○			○	
○			デザイン応用演習(イラスト) Ⅰ	イラスト表現のための基本テクニック習得。課題制作。	1 後	24		○		○			○	
○			デザイン応用演習(イラスト) Ⅱ-A/B	イラスト表現のための課題制作。応用表現の課題制作。コンテスト応募	2 前後	48		○		○			○	
○			デザイン応用演習(イラスト) Ⅲ-A/B	イラスト表現のための課題制作。応用表現の課題制作。コンテスト応募	3 前後	96		○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			DTP演習Ⅰ-A/B	DTPに必要なアプリケーションの知識と技術の基本を学習する。	1前後	96		○		○		○		
○			DTP演習Ⅱ	1年次の技術と知識を応用しDTPに関わる課題制作を行う。	2前	48		○		○		○		
○			デザインワーク演習Ⅰ	デザイン制作の現場に即した、実践的な知識、技術を学び、課題制作を行う。	1後	24		○		○			○	
○			デザインワーク演習Ⅱ-A/B	1年次の技術と知識を応用し、より実践的な課題制作を行う。	2前後	48		○		○			○	
○			デザインワーク応用演習	デザイン制作の現場に即した、実践的な知識、技術を活用し課題制作を行う。	3前	24		○		○			○	
○			Web基礎演習A/B	Webの基本言語である、HTML、CSSの習得	1前後	96		○		○			○	
○			Web応用演習A/B	CMSの基本技術習得からポートフォリオサイト制作。およびWebクリエイター能力認定試験受験のための対策講座	2前・後	96		○		○			○	
○			デザイン応用演習Ⅱ-選択A	DTP分野・Web分野のいずれかを選択し、より実践的な技術を応用し、課題制作を行う。	2前	24		○		○			○	○
○			デザイン応用演習Ⅱ-選択B	DTP分野・Web分野のいずれかを選択し、より実践的な技術を応用し、課題制作を行う。	2後	24		○		○			○	○
○			デザイン応用演習Ⅲ-選択A	DTP分野・Web分野のいずれかを選択し、より実践的な技術を応用し、課題制作を行う。	3前	24		○		○			○	○
○			デザイン応用演習Ⅲ-選択B	DTP分野・Web分野のいずれかを選択し、より実践的な技術を応用し、課題制作を行う。	3後	24		○		○			○	○
○			Office演習A	WindowsOSの機能についての学習とWordやExcelといったアプリケーションの操作実習をおこなう。	1前	24		○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Office演習B	MOS検定試験対策、Word、Exelを使った課題制作実習をおこなう。	1後	24		○			○				
○			作品プレゼンテーション演習Ⅰ-A	作品コンテスト応募作品を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	1前	20		○			○		○	○	
○			作品プレゼンテーション演習Ⅰ-B	進級制作を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	1後	30		○			○		○	○	
○			作品プレゼンテーション演習Ⅱ-A	作品コンテスト応募作品を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	2前	20		○			○		○	○	
○			作品プレゼンテーション演習Ⅱ-B	進級制作を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	2後	30		○			○		○	○	
○			作品プレゼンテーション演習Ⅲ-A	作品コンテスト応募作品を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	3前	20		○			○		○	○	
○			作品プレゼンテーション演習Ⅲ-B	卒業制作を通じて作品プレゼンテーション技術を習得する。	3後	30		○			○		○	○	
○			デザイン制作演習Ⅰ	作品コンテストへの応募を中心とした作品制作実習（1年次）	1前	40		○			○		○	○	
○			デザイン制作演習Ⅱ	作品コンテストへの応募を中心とした作品制作実習（2年次）	2前	40		○			○		○	○	
○			デザイン制作演習Ⅲ	作品コンテストへの応募を中心とした作品制作実習（3年次）	3前	40		○			○		○	○	
○			進級制作Ⅰ	1年間で習得した知識、技術を応用し、進級作品制作。	1後	76		○			○		○	○	○
○			進級制作Ⅱ	2年間で習得した知識、技術を応用し、進級作品制作。	2後	76		○			○		○	○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			卒業制作 A	3年間で習得した知識、技術を応用し、進級作品制作。企画書作成、調査、制作。	3後	48		○		○	○	○	○	
○			卒業制作 B	3年間で習得した知識、技術を応用し、進級作品制作。中間プレゼン、制作、プレゼン。	3後	76		○		○	○	○	○	
○			文章表現 I	就職活動で必要とされる国語力、作文制作力を養う。	1後	24	○			○			○	
○			文章表現 II	国語力、作文制作力に加えてビジネス文書作成術などについて学習する。	2前	24	○			○			○	
○			GCB I	感謝心と思いやりの教育	1前	16	○			○		○		
○			GCB II	志の教育	2後	16	○			○		○		
○			就職実務 I-A	就職ガイドブックを中心に使用し、就職活動へ向けての導入、指導。また自己分析により就職へのビジョンを導き出す。	2後	24	○			○		○		
○			就職実務 I-B	より具体的に就職活動に必要な心得、活動の進め方の指導。求職面接、就職行事などへ参加する。また履歴書の書き方や面接の練習を行う。	2後	24	○			○		○		
○			就職実務 II-A	就職試験対策として、学生への個別就職ガイダンス、面接練習を行う。	3前	24	○			○		○		
○			就職実務 II-B	就職試験対策として、学生への個別就職ガイダンス、面接練習を行う。	3後	24	○			○		○		
○			教養講座 I	就職試験対策してSPI対策、基礎教養講座を行う。	2後	24	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			教養講座Ⅱ	就職試験対策してSPI対策、基礎教養講座の継続、応用。	3前	24	○			○			○	
○			マナー講座	社会人になるにあたってのマナーの基本を確認する。	3後	24	○			○			○	
合計				58 科目	2666単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
ア. 各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。 イ. 卒業基準検定を取得していること。 ウ. 学年の出席率が90%以上であること。 エ. 学生としてふさわしい生活態度であること。 上記を満たせない者は、他の検定資格、学習態度、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。 ※留年した者は、その学年の全科目を再履修しなければならない。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。